

生物多様性と文化的景観の保全を学ぶ合宿研修を実施

12月9日、10日の二日間にわたり、三重県、伊勢・熊野地方を訪問しました。滞在中は、三重県の環境政策や地域資源を活かしたエコツーリズムについて学び、熊野古道についての説明を受けながら散策を楽しみました。また、海岸の清掃活動にも取り組み、集めた漂着ごみを利用して、海岸形成及び海岸線浸食について学びました。学生は三重県の豊かな自然を堪能し、生物多様性、文化的景観の保全への意識を高めるよい機会となりました。

<写真>

